

**製品名:** シヌクレイン- $\gamma$  ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab18519

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

## 抗原情報

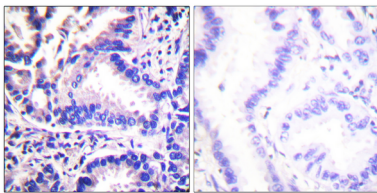
遺伝子名	SNCG
別名	SNCG; BCSG1; PERSYN; PRSN; Gamma-synuclein; Breast cancer-specific gene 1 protein; Persyn; Synoretin; SR
遺伝子 ID	6623.0
SwissProt ID	O76070
免疫原	抗血清はヒトシヌクレインガンマ由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 78-127

## 背景

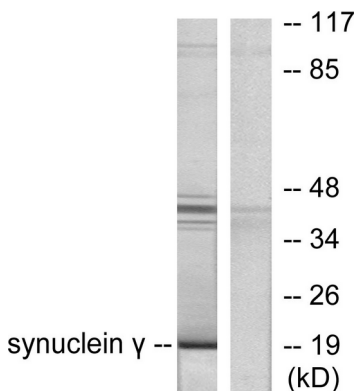
この遺伝子は、神経変性疾患の発症に関与すると考えられているシヌクレインファミリータンパク質のメンバーをコードしています。この遺伝子の変異は、乳がんの発生にも関連付けられています。[RefSeq 提供、2010年1月],疾患: まれな神経軸索ジストロフィーである脳鉄蓄積1型 (NBIA1、ハレルフォルデン・スパッツ症候群とも呼ばれる) は、組織学的には軸索スフェロイド、鉄沈着、レビー小体 (LB) 様神経細胞内封入体、グリア封入体、神経原線維変化を特徴とします。SNCG はスフェロイド中に認められますが、封入体中には認められません。機能: 神経フィラメントネットワークの完全性に関与しています。発達期および成体において、軸索構造の調節に関与している可能性があります。in vitro では、カルシウム依存性プロテアーゼに対する神経フィラメント H の感受性を高めます (類似性による)。皮膚のケラチンネットワークの調節にも機能する可能性がある。MAPK および Elk-1 シグナル伝達経路を活性化する。PTM: リン酸化。GRK5 によるリン酸化は、他のキナーゼによってリン酸化される残基とは異なる残基上で起こると考えられる。類似性: シヌクレインファミリーに属する。細胞内局在: いくつかの間期細胞では中心体と関連している。有糸分裂細胞では、紡錘体の極に局在する。サブユニット: 中心体関連タンパク質である可能性がある。組織特異性: 脳、特に黒質で高発現している。また、脳梁、心臓、骨格筋、卵巣、精巣、結腸、脾臓でも発現している。膵臓、腎臓、肺では弱い発現を示す。

## 研究分野

## 画像データ



シヌクレインガンマ抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



シヌクレインガンマ抗体を用いた HT29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



シヌクレイン $\gamma$ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析